

日中対照言語学会  
第35回大会(2016年度春季大会)のご案内

記

日 時：2016年5月22日(日)午前9時20分より午後5時00分(予定時間)  
会 場：東洋大学白山校舎 2号館 16階スカイホール(東京都文京区白山5-28-20)  
交 通：都営地下鉄三田線白山駅A3出口より徒歩5分  
東京メトロ南北線本駒込駅 1番出口より徒歩5分  
参加費：1000円(会員、非会員共通)

プ ロ グ ラ ム

- 受付(9:00-) 総合司会 竹島 毅(大東文化大学)
- 大会開催校挨拶 高橋 一男(東洋大学副学長) 9:20-9:30
- 開会の辞 続 三義(東洋大学) 9:30-9:40
- 研究発表1. 二種類の能格構文の派生関係を巡って—“手绢哭湿了”“张三累倒了”をタイプに  
李 鵬(大東文化大学大学院) 9:40-10:10
- 研究発表2. 「時」の「前・後」と「大・小」  
岡原 嗣春(大阪産業大学・近畿大学非常勤講師) 10:10-10:40  
以上 司会 平山 邦彦(拓殖大学)
- 休憩(10分 10:40-10:50)
- 研究発表3. “瓶子里有水”から考える日中両言語の存在表現  
洪 安瀾(大東文化大学大学院) 10:50-11:20
- 研究発表4. “形容詞+着”の意味用法について  
王 学群(東洋大学) 11:20-11:50
- 研究発表5. 程度表現の対照研究—疑問のモダリティ表現  
時 衛国(愛知教育大学) 11:50-12:20  
以上司会 安本 真弓(高千穂大学)
- 昼休み(60分 学食もあり、駅の周辺に食堂街あり) 12:20-13:20
- 講演 オノマトペの対照研究のために—中国語に擬態語はありますか?—  
小野正弘(明治大学) 13:20-14:20  
以上司会 加藤 晴子(東京外国語大学)
- 休憩(15分 14:20-14:35)
- 研究発表6. 範囲副詞“也”の「後方スコープ型」構文に関する一考察  
椿 正美(中央大学) 14:35-15:05
- 研究発表7. “把”構文における使役表現について  
小路口 ゆみ(大東文化大学大学院) 15:05-15:35  
以上司会 白銀 志栄(神田外国語大学)
- 休憩(15分 15:35-15:50)
- 研究発表8. 様態補語として用いられる「V上」と「V起来」の比較研究—  
様態描写がある場合を中心に—  
邨 鷗(新潟大学大学院) 15:50-16:20
- 研究発表9. “(动态动词+)上+来/去”と客体との関係について  
高橋 弥守彦(大東文化大学) 16:20-16:50  
以上司会 王 亜新(東洋大学)
- 閉会の辞 加藤 晴子(東京外国語大学) 16:50-17:00

会員総会

17:00-18:00

※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。(年会費:社会人4,000円、院生2,000円)